

---

# 僕は馬鹿 続き

滾

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕は馬鹿 続き

### 【Nコード】

N1456C

### 【作者名】

滾

### 【あらすじ】

僕は馬鹿、の後日談です。アレから一年経ったある日、散歩に再び出た僕と彼等の再会のお話。

(前書き)

『僕は馬鹿』の続きにあたるので、まずはそちらを閲覧の後にお読みください。

どうも。

月一で絡まれる、どうも僕です。

最近では、自転車で走行中、を自転車に乗った明らかに年下の男に歩道を自転車で遮られました。

腹が立ちましたが、何とか自転車を持ち上げて抜け、去り際に男の自転車の後輪を蹴ってきました。

後ろから聞こえた「ええ……」という声は忘れられません。

えー、というわけで、前回お話した“僕は馬鹿”の話を続を書く予定だったのですが、

はつきり言ってそんなに笑えるお話でもないので、簡単に説明して、今回は又別にお話をしたいと思います。

と、言うわけで、続きを簡単に。

あれから一年。

僕は再び親戚の家に。あれからチヨコチヨコ親戚の家には行っていたのですが、あれ以来散歩はしていませんでした。

そんなある日、ふと思いい立ち、その日も散歩をしようと思ったのです。去年の出来事もほぼ記憶からなくなっていました。

去年と同じ経路を歩きつつ、

ふと、

目の前にある人影が見えました。

二つの人影です。

僕は目が悪いので、目を細めました。目を細めると人相が悪くなるらしいのですが、気にしません。

ジー、と見ていると、少しずつ見えてきました。

どうやら男性と、女性のようにです。カップルでしょうか。

近づいていくにつれて、その二人の顔がどんどん鮮明になっていきます。

そして一定の距離に近づいたとき、

「あ」

と思わず声が漏れました。

距離にして10m程でしょうか。はっきりと、向こうの顔が見えたのです。

その顔は、

あの男性でした。

そしてその隣には、あの彼女。若干髪が短くなっていました。が、間違いありません。

しかし次の瞬間、向こうも僕に気付いたのでしょうか。

突如Uターン。

そして、

ダッシュ！

男性が彼女の手を引いて、僕に背を向けて走り出したのです。が、

この時の僕も、やはり馬鹿でした。

何かですね・・・、

一年経って尚、付き合っている（仮定）あの二人を見たらうれしくってねえ・・・。

追いかけました。

全力ダッシュで。

振り返る男性。

驚きの形相。

半泣き（仮定）の彼女。

追う僕。

まさしく悪者と恋人達の構図です。

何なら、変態から逃げる恋人達です。

完璧、方向性を見失っています。

寧ろ自分を見失っています。

追いかける。追いかける。

逃げる男性。が、彼女を連れたままで僕（変態）から逃げられず、

つかまりました（捕まえました）。

それからの事は覚えてません。脳が消去しました。

覚えているのは、男性の引きつった顔と、

号泣していた彼女さんの顔だけです。

何だカンダを語り合った（確か一方的に僕が話しをしていただけ）  
後、僕達は別れました。

あれ以来、彼等とは会っていません。多分引越してないと思います。

あの後親戚の家に戻る途中、ハトの糞が頬に当たったのは、多分罰です。間違いありません。

さて、ああ、短く話すつもりが、何か中途ハンプに長くなってしまった。

面白い話は又後日。

次の機会でお話させていただくことにいたします。

（後書き）

前回の続きです。中途半端ですが、これで『僕は馬鹿』に関しては終了です。

また別のお話は、またの機会にしたいと思います。  
楽しんで頂ければ幸いです。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1456c/>

---

僕は馬鹿 続き

2011年1月15日23時05分発行